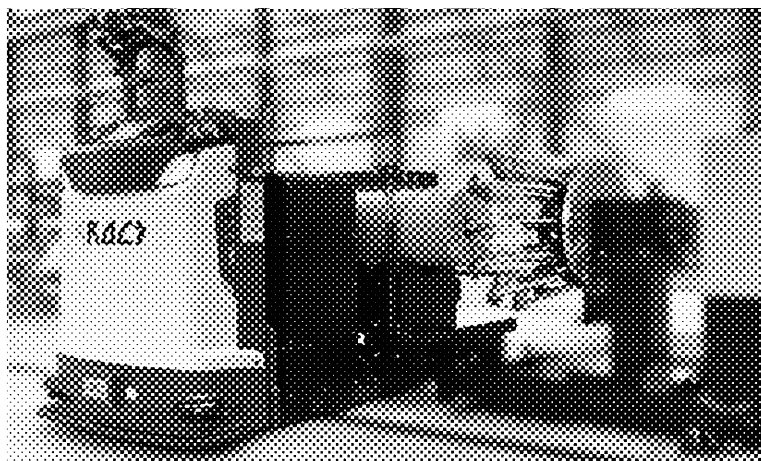


甲南設計工業が行う自社製品の全自動梱包搬送システム（共同提案事例の一つ）



プラスチック製造機で連携

【神戸】不二鉄工所（大阪府交野市、松本拓人社長）は、甲南設計工業（兵庫県三木市）、共栄システム（横浜市鶴見区）と、ウェブハンドリング分野で連携し、新ブランド「WHATZ（ワッツ）」を立ち上げた。3社の強みを生かし、プラスチック成形加工の巻き取りやスリット、包装、製品の自動搬送といった後工程の無人化などを共同提案する。機械、制御、情報システムを一体設計するトータルソリューションとして推進する狙い。

3社はウェブハンドリング関連の専門機械メーカー。大・中・小型の各サイズやプラスチックシート幅の幅広い厚み、量産品やオーダーメイド品の巻き取り機などに各社強みを持つ。また、甲南設計工業は独自の自動搬送ロボットの活用や多関節・多軸ロボット、自社セットアップが可能で、巻き取りや搬送、運搬など無人化による自動巻き取りシステムなどを提案している。

今後は顧客の相談に3社が協力し顧客が複

不二鉄工所など3社、一体設計

後工程無人化など提案

数のメーカーとやりとりすることなく、時間短縮、伝達漏れの防止、責任所在の明確化、品質の安定化を実現し、幅広いプラスチック成形加工の後工程の設備に対応できるようになる。

今回の連携に先立ち甲南設計工業と不二鉄工所は2025年に業務提携を締結。甲南設計工業の「停止位置補正システム搭載自動搬送ロボット」と、不二鉄工所の「全自動梱包装置」を組み合わせた自律型自動搬送システムを共同開発した。甲南設計工業の白木欣哉会長は「ブランド名のワッツはウェブハンドリング分野の顧客の課題に対してAからZまでワンストップで解決し、トータルソリューションを提供していく志を込めている」としている。

ウェブハンドリング分野の技術には、プラスチックフィルムなどの薄く連続したシートのロール状に巻き出しから塗工・乾燥・印刷・ラミネート・裁断などの加工し、再びロール状に巻き取るまでの一連の移送・制御などが含まれる。